

 <p>コウボウムギ</p>	<p>●コウボウムギ</p> <p>特長:春になると、背(せ)の低い麦のような穂(ほ)を出します。根は地下でつながっています。観察するには:砂浜(すなはま)で見られます。葉はかれたあとも、曲がりくねったまま、残ります。</p>	 <p>ハマユウ</p>	<p>●ハマユウ</p> <p>特長:あつい葉が、重なり合いながら広がります。太い根でからだをささえます。夏になると、大きな白い花をさかせます。観察するには:マリンピア側の砂浜(すなはま)で多く見られます。</p>	 <p>ウミネコ</p>	<p>●ウミネコ</p> <p>特長:カモメの仲間なのにネコとつくのは「ミャーオ」と鳴くからでしょうか。観察するには:一年中、波止にむれて休んでいるところを見られます。</p>
<p>●コウボウシバ</p> <p>特長:5月ごろ、てっぺんにフワフワしたオスの穂(ほ)、ツブツブがハッキリしたメスの穂をだします。観察するには:砂浜(すなはま)で見られます。コウボウムギよりひと回り小さいです。</p>	 <p>コウボウシバ</p>	<p>●ハマボウフウ</p> <p>特長:春にでる若葉(わかば)は、山菜として食べられます。夏にカリフラワーのような白い花をさかせます。観察するには:マリンピア側の砂浜(すなはま)で多く見られます。赤い茎(くき)が食べごろです。</p>	 <p>ハマボウフウ</p>	<p>●コアジサシ</p> <p>特長:スマートな体の小さな鳥で、飛ぶ力はばつぐんです。観察するには:5,6月ごろに、砂浜(すなはま)に巣をつくり、海でつかまえた魚をヒナへ運びます。近づかずに遠くから観察しましょう。</p>	 <p>小魚をヒナへ運ぶコアジサシ</p>
 <p>ハマヒルガオ</p>	<p>●ハマヒルガオ</p> <p>特長:春になると丸い葉を広げ、砂浜(すなはま)の上にツルをのばします。砂浜をおおくと、ラッパ形の花をつぎつぎにさかせます。観察するには:砂浜でふつうに見られます。葉はアサガオとちがい丸い形をしています。</p>	 <p>クロマツの松ぼっくり</p>	<p>●クロマツ</p> <p>特長:クロマツは潮(しお)風に強く、一番海に近いところで育つ木です。アジュール舞子は「白砂青松(はくさせいしょう)」を目指して、たくさんクロマツが植えられています。観察するには:しばふ広場で見られます。</p>	 <p>カワウ</p>	<p>●カワウ</p> <p>特長:黒い羽とヘビのような長い首をもつ鳥です。泳ぎが得意な鳥で、海にもぐって魚をとります。観察するには:波止でぬれた羽をかわかしたり、休んでいるところを見られます。</p>
<p>●ハマゴウ</p> <p>特長:葉のうらに小さい毛が生えていて、白く見えます。夏になると、小さな青い花をたくさんさかせます。観察するには:マリンピア側の砂浜(すなはま)で、かたまりになって見られます。</p>	 <p>ハマゴウ</p>	<p>●シロチドリ</p> <p>特長:水辺で見られる小さな鳥です。首の横から後ろにかけて黒い帯があります。観察するには:波打ちぎわを数羽でちょこまかと歩きまわり、小さいきものをさがしているところを見られます。</p>	 <p>波打ちぎわのシロチドリ</p>	<p>●トビ</p> <p>特長:大きなタカで、尾羽(おばね)に三角のへこみが入ります。おもに死んだ魚や動物を食べています。観察するには:よく上空を飛んでいます。鳴き声は「ピーヒョロロロ」</p>	 <p>魚を運ぶトビ</p>

アジュール舞子いきもの図鑑 (海の野鳥 / 浜の植物)